

副専攻

●副専攻手続き

<登録手続き>

副専攻の履修を希望する場合は、Sophie掲示の日程に従い、4月オリエンテーション期間中に開催のガイダンスへ出席し、手続きを行ってください。定員を上回る履修希望者があった場合は、選抜を行うことがあります。副専攻の登録手続き完了後、副専攻別ガイダンスがあります。

すでに副専攻を履修している場合、他の副専攻を履修したり、副専攻を変更することはできません。

<履修中止手続き>

副専攻の履修を取りやめる場合は、届出が必要です。期日までに教務課に申し出て、履修中止の手続きを行ってください。手続きの日程は別途Sophieでお知らせします。履修中止の手続き後に履修を再開したり、新たな副専攻を登録することはできません。

●副専攻の種類

種類	副専攻	新規募集定員枠	履修開始学年	
学科が開設する副専攻	英語英文学副専攻 英語学・英語教育学分野	6名	2年次	
	英米文学分野	8名		
	メディア・コミュニケーション分野	6名		
		日本語日本文学副専攻	なし	2年次または3年次
		史学副専攻 日本史コース 世界史コース	なし なし	2年次
		人間関係副専攻	なし	2年次
		国際交流副専攻	なし	2年次または3年次
		哲学副専攻	なし	2年次または3年次
学科横断的に開設される副専攻	教育学副専攻	なし	2年次または3年次	
	心理学副専攻	なし	2年次	
	総合リベラル・アーツ副専攻	なし	2年次*または3年次	
	グローバル共生副専攻	なし	2年次または3年次	

※総合リベラル・アーツ副専攻のみ、2年次後期からも登録手続きを行うことができます。手続きの日程は別途Sophieでお知らせします。

●副専攻の修了要件等

- ・修了要件は各副専攻によって異なります。各副専攻の履修要項を確認してください。
- ・副専攻開始以前に修得した単位を副専攻の修了要件に算入できるかどうかについては、各副専攻の履修要項の「履修開始前の単位」で確認してください。
- ・副専攻の修了要件に含めることができる単位は、「関連分野」の科目に限ります。
- ・総合リベラル・アーツ副専攻について、課題に関係する科目のうち所属学科で開講されている科目は「専攻分野」となりますが、4単位まで副専攻の修了要件に含めることができます。
- ・履修中の副専攻は、成績通知書および和文の成績証明書に記載されます。副専攻を修了した場合、卒業時に副専攻修了証が授与され、卒業後は和文の成績証明書に修了した副専攻が記載されます。
- ・副専攻の修了は、卒業することが前提となります。

哲学副専攻

●修了要件

哲学副専攻の修了要件は次のとおりです。

- 哲学科開講の演習科目(哲学特殊演習を除く)の中から最低4単位修得していること

▼演習科目

授業科目	単位	備考
哲学演習Ⅰ	4	
哲学演習Ⅱ	4	
哲学演習Ⅲ	4	
哲学演習Ⅳ	4	
哲学演習Ⅴ-1	2	
哲学演習Ⅴ-2	2	
哲学演習Ⅵ-1	2	
哲学演習Ⅵ-2	2	
哲学演習Ⅶ-1	2	
哲学演習Ⅶ-2	2	
哲学史演習Ⅰ	4	
哲学史演習Ⅱ	4	
倫理学演習Ⅰ	4	
倫理学演習Ⅱ	4	
倫理学演習Ⅲ	4	
日本思想史演習Ⅰ	4	
日本思想史演習Ⅱ	4	
美学・芸術学演習Ⅰ	4	
美学・芸術学演習Ⅱ	4	
美学・芸術学演習Ⅲ	4	
美学・芸術学演習Ⅳ	4	
キリスト教学演習Ⅰ	4	
キリスト教学演習Ⅱ	4	
キリスト教学演習Ⅲ	4	
キリスト教学演習Ⅳ	4	

- 哲学副専攻の指定科目の中から上記演習科目を含んで、関連分野の単位として、合計20単位以上修得していること

●副専攻指定科目

哲学副専攻の指定科目は、シラバスおよび授業時間表の副専攻欄に「H1」と記載された科目です。指定科目は開講年度ごとに見直されます。

なお、哲学科開講科目のうち、**指定科目の対象外**となる科目は、次のとおりです。

◎開講されたすべての年度において対象外の科目

哲学入門、哲学入門Ⅰ、哲学入門Ⅱ、哲学特殊演習Ⅰ、哲学特殊演習Ⅱ、哲学特殊演習Ⅲ、哲学特殊演習Ⅳ、哲学特殊演習Ⅴ、哲学特殊演習Ⅵ、哲学特殊演習Ⅶ、キリスト教文学、キリスト教美術、キリスト教音楽、キリスト教思想Ⅰ、キリスト教思想Ⅱ、ギリシア語Ⅰ、ギリシア語Ⅱ、ラテン語Ⅰ、ラテン語Ⅱ

◎2010年度以降対象外の科目

日本美術史Ⅰ、日本美術史Ⅱ、東洋美術史Ⅰ、東洋美術史Ⅱ、西洋美術史Ⅰ、西洋美術史Ⅱ

●履修開始前の単位

副専攻履修開始前に履修した哲学副専攻の指定科目の修得単位は、副専攻の単位に算入できます。

●履修上の注意

副専攻修了の最低必要単位数は20単位ですが、30単位以上修得することを推奨します。